

名古屋市立大学病院

病院長名	松川 則之
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市長区瑞穂区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車 3 番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

病院の特徴

当院は 800 床の病床、32 の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。名古屋市立大学病院は、桜山の当院を含め、西部医療センター、東部医療センター、みどり市民病院、みらい光生病院、リハビリテーション病院が大学病院化し、現在、6 つの病院群からなっています。さらに、当院では、救急・災害医療のさらなる機能拡充を図るため、救急災害医療センター（2026 年開棟予定）の建設を進めています。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

研修プログラムの特徴

私たちは、名古屋市立大学病院を中心として、刈谷豊田総合病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターのそれぞれも基幹病院とした 3 つのプログラムを提供します。各プログラムの独立性は厳格に担保されますが、各基幹病院も連携し専攻医の選択肢が広がるよう工夫されています。大学病院のプログラムでは、大学病院と 25 の連携施設（症例の多い施設群 A と地域密着または特殊領域研修の施設群 B）の外科専門研修指導医のもとで研修しますが、大学院やサブスペシリティ領域を考慮したコース設定も可能です。

<研修モデル>

1 年次 (1.5 年)	2 年次 (0.5 年)	3 年次 (1 年)	4 年次以降
連携施設群 A	連携施設群 B	基幹施設	基幹施設、連携施設

大学病院
サブスペシリティ領域研修
 大学院コース
サブスペシリティ領域など専門医研修

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHP を参照

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



主な連携施設

【連携施設群 A (High Volume Center)】

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、トヨタ記念病院、豊川市民病院、刈谷豊田総合病院 など

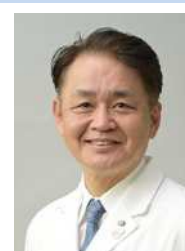
【連携施設群 B (地域密着、特殊領域研修)】

蒲郡市民病院、知多厚生病院、稲沢厚生病院、いなべ総合病院、各ハートセンターなど

メッセージ

消化器外科 部長 瀧口 修司

名古屋市立大学外科学教室 が提言する外科専門医への ロードマップ



私たち外科学教室の外科専門医を育成する制度は、外科全般の広範囲にわたる診療領域をバランスよく経験できることを目指したシステムとなっています。

このシステムにより診療能力の高い外科医を育成できていると自負しています。

募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人	※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与／月額	357,900 円～436,200 円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)	
・当直回数／月	4 回程度 (診療科により異なる)	
・当直料／回	24,000 円～34,000 円	
・その他	年間有給休暇 20 日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
・応募連絡先	担当者 専攻医募集担当	
	電話番号	052-858-7527
	E メール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp

消化器
外科学

呼吸器・
小児外科学
と
乳腺外科学

心血管
外科学

